

猛威をふるい、はるか17,000kmの太平洋を越えて23時間後に日本へ押し寄せ、三陸海岸を中心に甚大な被害をもたらしました。なんとフライト時間より津波の方が早いですね。昨年3月11日の東日本大震災(M9.0)や、2010年2月27日のチリ地震(M8.8)を踏まえ、津波に強い地域造りを両国の大学や研究機関などの多くの研究者が協力して取り組んでいこうというプロジェクトです。この成果が世界の津波対策の道標となることでしょう。

こういった特定のプロジェクトの他に、港湾空港技術研究所ではNEES(米国地震工学シミュレーションネットワーク)やKORDI(韓国海洋研究院)等18の研究機関と研究協定を結んでいます。近く新たにNGI(ノルウェー地盤工学研究所)や南デンマーク大学、天津水理研究所との研究協力を進めることとしており、グローバルな研究で世界に貢献できる研究機関たることを目指しています。国内ではJAMSTEC(海洋研究開発機構)や水産総合研究センター、大学、コンサルタント等との連携を深めており、内外22の大学に41名の港湾空港技術研究所育ちの研究者が後進を育て、また有為な研究に取り組んで頂いております。今後とも当研究所は組織と人のネットワーク(絆)を深めてゆきたいと思っておりますので、ご指導願えれば幸いです。

さて、皆さんが食されておられるサケ・マスの多くはチリ産であることをご存じでしょうか。スモークサーモンにはチリワインが秀逸ですね。些か冒険好きな御仁には Pisco Sour がお勧めです。

◇PARI◇=====

2. 第9回国際沿岸防災ワークショップの開催のお知らせ

=====◇PARI◇

「第9回国際沿岸防災ワークショップ」が、以下の要領で開催されます。

- ・日時:平成24年2月24日(金)10:20~18:10
- ・場所:よみうりホール(最寄り駅:JR有楽町)

今回の「ワークショップ」では、海に関係する研究機関や研究者に集まって頂き、「豊かな海との共生を考えた地震・津波防災に向けて」をテーマとして、研究成果を披露するとともに、議論をして頂くことになっております。

会場は、JR有楽町駅の隣の家電量販店の上のホールで開催されますので、交通アクセスも便利です。まだ席に余裕がございますので、多数の申し込みお待ちしております。

(申し込みは以下のホームページからお願いします)

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2011/20120224ws.html>

◇PARI◇=====

3. 報告:国際会議・国際出張報告

=====◇PARI◇

1)「AGU(American Geophysical Union) Fall Meeting」に出席しました。

<http://www.pari.go.jp/files/3991/1469850602.pdf>

2)「コロンビア国「中南米地域港湾開発・戦略運営研修」フォローアップ協力(JICA)」に出席しました。(発表資料がありますが、サイズが大きいため、ダウンロードの際にはご留意願います。)

<http://www.pari.go.jp/files/4022/1864694025.pdf>

- 3)「2nd UAP/SEL Seminar on Recycling of Demolished Concrete(第2回廃コンクリートのリサイクルに関するセミナー)」に出席しました。

<http://www.pari.go.jp/files/4021/661663623.pdf>

◇PARI◇=====

4. 港湾空港技術研究所報告・資料が発行されました

=====◇PARI◇

港湾空港技術研究所の研究成果として、「港湾空港技術研究所報告」、「港湾空港技術研究所資料」を公表しています。今回は本年12月発行分を紹介します。

○港湾空港技術研究所報告・資料の検索ページ

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/index.cgi>

○全国港湾海洋波浪観測長期データに基づく日本沿岸の季節別波浪特性の経年変化

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213143301>

○2011年東北地方太平洋沖地震の地震動に対しての地盤の液状化挙動に関する考察

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213143445>

○港湾地域強震観測年報(2010)

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213143804>

○東日本大震災で被災した港湾における地震動特性

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213144015>

○海洋環境における中流動コンクリートの長期耐久性に関する研究

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213144213>

○緊急時における高い運用性を有する高粘度油回収システムの研究

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213144418>

○平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震津波の特性

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213142341>

○土丹層に支持された鋼管杭の軸方向抵抗力の検討

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213142549>

○既存矢板壁に対する控え工増設の補強効果とその評価法の開発

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213142731>

○内陸地殻内地震によるやや短周期地震動の再現に適した震源のモデル化手法

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213142907>

○下新川海岸における長周期うねりの越波発生機構とその対策

<http://www.pari.go.jp/cgi-bin/search-ja/detail.cgi?id=20111213143100>

◇PARI◇=====

5. 港湾空港技術研究所ホームページ 掲載情報

=====◇PARI◇

- 1) 地球規模課題対応国際科学技術協力研究事業「津波に強い地域づくり
技術の向上に関する研究プロジェクト」キックオフシンポジウムを開催
しました。
<http://www.pari.go.jp/files/4060/129989776.pdf>
- 2) 干潟での技術を応用し、大型の深海生物の巣穴構造を世界で初めて解
明するのに寄与しました。
<http://www.pari.go.jp/press/2011/20120201-1.html>
3. 干潟に飛来する様々な鳥類がバイオフィルムを食べていることを、世
界で初めて解明しました。
<http://www.pari.go.jp/press/2011/20120206.html>

◇PARI◇=====

6. 事務局からのお知らせ

=====◇PARI◇

- ◆本メールは今まで港空研が主催した講演会や一般公開でメールアドレスを登録された方にお送りしております。
- ◆メールマガジン「PARI Club 通信」の配信登録、配信停止、およびメールマガジンに関するご意見、ご要望は、本メールに返信するか、以下のアドレスに送付ください。
「pariclub@ipc.pari.go.jp」
- ◆配信停止の場合は、お手数ですが、件名を「メール停止希望」として送付願います。